

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
 【**単独**・連携事業】

市町名	高根沢町
-----	------

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	交通安全意識向上事業	総事業費	506,826	501,357	500,000	500,000	500,000	2,508,183
		うち市町支出額	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	2,500,000
		うち県交付金	150,000	150,000	0	0	0	300,000
2	地域防犯体制強化事業	総事業費	503,238	500,006	500,000	500,000	500,000	2,503,244
		うち市町支出額	500,000	499,396	500,000	500,000	500,000	2,499,396
		うち県交付金	150,000	150,000	0	0	0	300,000
3	女性も活躍火災予防事業	総事業費	100,337	100,182	100,000	100,000	100,000	500,519
		うち市町支出額	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	500,000
		うち県交付金	45,000	45,000	0	0	0	90,000
4	たかねざわ元気川柳事業	総事業費	373,375	461,866	422,330	350,000	350,000	1,957,571
		うち市町支出額	373,375	461,866	422,330	350,000	350,000	1,957,571
		うち県交付金	160,000	160,000	160,000	0	0	480,000
5	JR烏山線開業100周年記念事業	総事業費			800,195	650,000	650,000	2,100,195
		うち市町支出額			800,195	650,000	650,000	2,100,195
		うち県交付金			325,000	0	0	325,000
6	東京2020競技大会ホストタウン推進事業(旧東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業)	総事業費	3,450,991	1,500,002	400,000	0	0	5,350,993
		うち市町支出額	3,450,991	1,500,000	400,000	0	0	5,350,991
		うち県交付金	1,399,070	750,000	200,000	0	0	2,349,070
7	高根沢町文化祭開催事業	総事業費			700,000	700,000	700,000	2,100,000
		うち市町支出額			700,000	700,000	700,000	2,100,000
		うち県交付金			350,000	350,000	350,000	1,050,000
8	高根沢町元気あっぷるハイパーマラソン大会兼長距離走大会	総事業費			12,961,990	15,721,857	0	28,683,847
		うち市町支出額			6,020,000	6,000,000	0	12,020,000
		うち県交付金			1,000,000	1,000,000	0	2,000,000
9	自治会特典カード事業	総事業費				292,204	50,000	342,204
		うち市町支出額				270,000	50,000	320,000
		うち県交付金				135,000	25,000	160,000
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	4,934,767	3,063,413	16,384,515	18,814,061	2,850,000	46,046,756
		うち市町支出額	4,924,366	3,061,262	9,442,525	9,070,000	2,850,000	29,348,153
		うち県交付金	1,904,070	1,255,000	2,035,000	1,485,000	375,000	7,054,070

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	高根沢町
事業名	高根沢町文化祭開催事業
事業主体の名称	高根沢町文化祭開催委員会
代表者の名称	委員長 大谷喜男
事業主体の所在	栃木県塩谷郡高根沢町大字石末1825番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 昭和53年度から年度毎に設置(単年度清算) ・設立年月日: 文化祭の開催により、高根沢町における文化の発展と協働のまちづくりに寄与する。 ・構成員等: 文化協会、自主活動文化グループ、小学校等の関連団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>【現状】本町では、町や各種団体による講座や体験学習などの文化活動や地域芸能に親しむことを通して、生きがいがづくりや郷土愛の醸成への取り組みを行っている。参加者の文化活動等への意欲の高揚や、普段文化活動をしていない人には文化活動等をはじめめるきっかけとなるよう、多くの人が集い交流を深められる場として文化祭を開催している。</p> <p>【課題】文化祭に参加・来場する人だけでなく、普段から各種団体等で文化活動を行う人の年齢層は比較的高めである。文化活動等を通じた郷土愛の醸成をさらに推進するためには、より多くの人(特に若い世代)の文化活動等への興味関心を高める必要があることから、若い世代をはじめ、町民が文化祭に参加・来場しやすい環境をつくることが求められている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動を通じて他者の多様性を理解し合い、町民の豊かな心を育むとともに、郷土愛を醸成する。 ・自治会等での地域コミュニティ活動や地域の居場所づくりのルーツになる文化活動を振興する。 ・町の文化関係団体の活動を知る機会をつくり、団体加入などによる生きがいがづくりに寄与する。
事業概要	<p>【令和6年度】</p> <p>①開催委員会の開催 開催日: 令和6年6月28日(金) 文化祭の開催について、展示部門・発表部門の作品展示や発表(芸能発表・学校発表)等の実施内容について協議をした。</p> <p>②祭りの開催 生きがいがづくりや文化活動への意欲高揚ひいては郷土愛の醸成を図るため、各文化関係団体が緊密に連携して、以下の内容で作品展示や活動発表の場を設けた。 (開催日) 令和6年11月2日(土)・3日(日) (開催場所) 高根沢町農業者トレーニングセンター・高根沢町町民ホール・高根沢町歴史民俗資料館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が参加し、交流するイベントを行った。 ・芸能・学校発表・作品展示等において、各種団体が連携する。 ・町内飲食店に依頼し、会場中庭に飲食ブースを設置して、世代を問わず来場するよう働きかけた。 ・芸能・学校発表や作品展示を行う機会をつくり、生涯学習の裾野を広げることに繋がった。 <p>【関係人口分類】 I-d(参加・交流型) 文化祭を通して本町の文化や魅力をPRすることにより、関係人口創出を図った。</p> <p>【令和7年度以降】 令和6年度の実績を踏まえ、実行委員会において開催方法を検討したうえで、引き続き文化祭を開催する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】基本目標2「子育てに適した生活環境と、生涯にわたり住み続け・働けるまち」を目指します。</p> <p>【KPI】 20代～40代の人口 11,790人(2019年4月1日時点)より増加 道の駅たかねざわ元気あつぷむらの年間施設利用者数 450,000人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①開催委員会の開催 ②祭りの開催準備 ③祭りの開催(作品展示部門・ステージ発表部門)	①開催委員会の開催 ②祭りの開催準備 ③祭りの開催(作品展示部門・ステージ発表部門)	①開催委員会の開催 ②祭りの開催準備 ③祭りの開催(作品展示部門・ステージ発表部門)		①開催委員会の開催 ②祭りの開催準備 ③祭りの開催(作品展示部門・ステージ発表部門)
事業費	700,000	700,000	700,000	2,100,000	700,000
市町支出金(ソフト事業分)	700,000	700,000	700,000	2,100,000	700,000
うち県交付金	350,000	350,000	350,000	1,050,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	高根沢町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高根沢町文化祭開催事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
町交付金	700,000	(うち 栃木県わがまちつながり構築事業交付金分は350,000円)
計	700,000	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品	109,980	109,980	54,990	0	カラーペーパー・ラミネートフィルム等
印刷製本費	140,738	140,738	70,369	0	募集・開催チラシ印刷、新聞折込
通信運搬費	10,000	10,000	5,000	0	切手代等
保険料	15,280	15,280	7,640	0	イベント保険料
委託料	407,502	407,502	203,751	0	作品展会場設営委託・ホール音響照明委託
賃借料	16,500	16,500	8,250	0	テント横幕レンタル
				0	
				0	
				0	
				0	
計	700,000	700,000	350,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	高根沢町
事業名	高根沢町元気あつぷハーフマラソン大会兼長距離走大会
事業主体の名称	高根沢町元気あつぷハーフマラソン大会兼長距離走大会組織委員会
代表者の名称	会長 加藤公博
事業主体の所在	〒329-1225 栃木県塩谷郡高根沢町大字石末1825番地
事業主体の概要	・団体の目的: 元気あつぷハーフマラソン大会兼長距離走大会の開催 ・設立年月日: 平成7年9月29日 ・構成員等: 町、町議会、町教育委員会、町スポーツ協会、栃木陸上競技協会、商工会等の関係団体で組織
当該事業に係る地域の現状と課題	【現状】 本町の平坦な地の利を活かして、町を代表するイベントとしてハーフマラソン大会を開催し、スポーツを通じた健康に対する意識醸成や参加者と地域との交流を図るとともに、道の駅たかねざわ 元気あつぷむらをはじめとした町の魅力をPRするために取り組んでいる。 【課題】 前回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出場枠に一定の制限をかけた上で開催したが、今回は制限を設けずに開催することにより、県内外より参加者の増加が見込まれるため、安心・安全な開催を目指す。
事業目的	・マラソン等への参加や参観を通して、スポーツに対する興味関心を高めて、健康や体力の保持・増進を促す。 ・地域の関係団体が連携して大会を開催することによって、地域の一体感を醸成する。 ・県内外からの参加者との交流を深め、「道の駅たかねざわ 元気あつぷむら」への回遊などを含めて、地域活性化を図る。
事業概要	【令和6年度】 ①・実行委員会の開催 開催日: 令和6年6月26日・12月12日 大会運営(日程・競技注意事項・会場・競技役員の業務・タイムスケジュール等)について協議した。 ②大会の開催(以下の内容で令和7年1月12日に大会を開催した。) ・競技種目は、ハーフマラソン、10km、5km、2km ・参加対象者: 一般成人(大学生含む)、高校生、中学生、小学生(1~3年生は親子マラソン) ・参加者合計: 1,772人 ・専用ホームページを開設して県内外からの参加者を募集するとともに、県内高等学校陸上競技部、東北・関東学生陸上競技連盟所属大学等に開催案内や参加啓発を行った。 ・チラシ5,000部、ポスター150部、ラジオCMで大会のPRを図った。 ・運営面において、大会開催に向けて準備段階から地域の関係団体等が連携を深めたり、大会当日には中学生や高校生、民間企業等がボランティアとして多数参加したり、町の一大スポーツイベントに多くの人が関わる機会を作ることで、地域の一体感を醸成や町への愛着度の向上を図った。 【関係人口分類】I-d(参加・交流型) ・町外からの参加者には高根沢町の魅力を感じ、「高根沢町に来てよかった」「マラソン大会以外の時期にも来てみたい」と思っていたり、地域活性化の効果を広げていけるよう、町の農産物・加工品を使った味噌汁の無料配布や、町の特産物や道の駅高根沢元気あつぷむらなどの情報発信等を行い、関係人口創出を図った。 ・地域の方を中心とした飲食ブース(焼きそば、焼き芋、唐揚げ等)や物産ブース(イチゴや菓子等)を開設した。 【令和7年度以降】 令和6年11月12日に臨時組織委員会を開催し、高根沢町役場新庁舎等建設に係る解体工事に伴い、当面の間、大会開催を休止することを決定した。なお、高根沢町新庁舎等の供用開始(令和10年度予定)以降に大会を再開する予定である。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】基本目標2「子育てに適した生活環境と、生涯にわたり住み続け・働けるまち」を目指します。 【KPI】20代~40代の人口 11,790人(2019年4月1日時点)より増加 道の駅たかねざわ元気あつぷむらの年間施設利用者数 450,000人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①実行委員会の開催 ②大会の開催準備 ③大会の開催	①実行委員会の開催 ②大会の開催準備 ③大会の開催	開催休止		開催休止
事業費	12,961,990	15,721,857	0	28,683,847	0
市町支出金 (ソフト事業分)	6,020,000	6,000,000	0	12,020,000	0
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	0	2,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	6,941,990	9,721,857	0	16,663,847	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
連絡先 FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	高根沢町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高根沢町元気あっぷ ^o ハーフマラソン大会兼長距離走大会	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
町交付金	6,000,000	(うち 栃木県わがまちつながり構築事業交付金分は1,000,000円)
参加料	7,287,000	ハーフマラソン7,000円、一般3,500円、高校生1,500円、小中学生1,000円、親子ペア2,500円
繰越金	708,857	前回繰越金
協賛金等	1,726,000	協賛金、出店料等
計	15,721,857	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	2,107,462			2,107,462	参加賞、入賞者賞品、競技役員・スポーツドクター報償等
旅費	42,000			42,000	陸上競技協会関係者旅費
消耗品費	311,828			311,828	大会用具等
食糧費	135,900			135,900	競技役員昼食代、招待選手等弁当代
印刷製本費	466,180			466,180	プログラム・ポスター印刷代等
通信運搬費	318,932			318,932	切手、送料、電報
手数料	66,880			66,880	仮設トイレ汲取料、振込手数料
委託料	10,299,605	6,000,000	1,000,000	4,299,605	大会計測委託、警備委託、会場設営委託等
使用料及び賃借料	102,136			102,136	コピー機・先導車両賃借料、栃木陸上競技協会名義使用料
選手招待費	410,000			410,000	選手招待・贈答品
繰越金	1,460,934			1,460,934	
計	15,721,857	6,000,000	1,000,000	9,721,857	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	高根沢町
事業名	自治会特典カード事業
事業主体の名称	高根沢町自治会連合会
代表者の名称	会長 牧 恒男
事業主体の所在	〒329-1292 高根沢町大字石末2053番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 町内の自治会相互の連携を図り、各自治会の振興発展と地域福祉の増進に努めるとともに、高根沢町と協力して地域づくりに寄与すること。</p> <p>・設立年月日: 令和2年4月17日</p> <p>・構成員等: 町内の49自治会</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>【現状】</p> <p>・当連合会は、防災、防犯、地域福祉等に係る研修を実施するなどして自治会活動の活性化、地域及び町民の福祉増進に取り組んでいる。</p> <p>【課題】</p> <p>高根沢町の自治会加入率は、県内ワースト1であり、平成30年度に5割を下回り(49.9%)、令和6年度には4割を下回った(39%)。</p> <p>その要因は、高齢化の進行等様々であるが、「自治会に加入するメリット」が感じられなくなってきたということが要因のひとつであると捉えている。</p>
事業目的	道の駅その他の店舗等で自治会加入者が様々なサービス(特典)を受けられる仕組みを構築し、自治会への加入メリットを可視化することで、自治会加入率の向上を図る。 この取組を通じて、町内店舗等の賑わい創出に寄与することで、「まちに住んでみたい」、「まちに住み続けたい」と思う人を増やし、まちの魅力を高める。
事業概要	<p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会特典カード事業を開始した。【カードの有効期間:3年間(令和6年7月1日~令和9年6月30日)】 自治会加入者に対して様々なサービス(特典)を提供する店舗等を募集した。 カード、リーフレットを作成し、自治会員に配布した。【カード、リーフレットの作成数:各6,000枚】 事業周知のため、ミニのぼり旗、ステッカーを制作し、参画店舗等に配布した。【参画店舗数:38】 <p>【令和7年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 店舗等の追加募集 リーフレット等によるカード事業の周知 <p>【令和8年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 店舗等の追加募集 リーフレット等によるカード事業の周知 カード事業の効果検証(参画店舗等でのカード利用状況、自治会加入率への影響等)
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】基本目標2「子育てに適した生活環境と、生涯にわたり住み続け・働けるまち」を目指します。</p> <p>【KPI】20代~40代の人口 11,790人(2019年4月1日時点)より増加 道の駅たかねざわ元気あつむらの年間施設利用者数 450,000人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和6年度	令和7年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	カード、リーフレット、PRグッズの制作(デザイン作成と一体的に委託)及び配布	リーフレット(更新版)制作・配布			リーフレット(更新版)制作・配布
事業費	292,204	50,000		342,204	50,000
市町支出金(ソフト事業分)	270,000	50,000		320,000	50,000
うち県交付金	135,000	25,000		160,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	22,204	0	0	22,204	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	
担当者名	
電話	
FAX	
E-mail	

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	高根沢町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	自治会特典カード事業	
対象年度	6	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
町補助金	270,000	(うち 栃木県わがまちつながり構築事業交付金分は135,000円)
繰越金	22,204	
計	292,204	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
消耗品費	29,890	20,000	10,000	9,890	各自治会におけるカード交付管理用ファイルケース等
通信運搬費	4,494	0	0	4,494	店舗等への校正依頼等の郵送料
委託料	257,820	250,000	125,000	7,820	カード、リーフレット、PRグッズの制作(デザイン作成と一体的に委託)
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	292,204	270,000	135,000	22,204	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合